



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社アルファポリス

上場取引所 東

コード番号 9467 URL <https://www.alphapolis.co.jp/company/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 雄介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理本部本部長 (氏名) 大久保 明道

TEL 03-6277-0123

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	5,723	43.8	1,595	51.5	1,600	52.0	1,008	56.5
2020年3月期第3四半期	3,979	12.0	1,053	7.6	1,053	7.6	644	2.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	104.12	
2020年3月期第3四半期	66.51	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	8,922	7,157	80.2
2020年3月期	7,614	6,148	80.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 7,157百万円 2020年3月期 6,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,600	35.0	2,100	43.6	2,100	43.7	1,300	47.7	134.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	9,687,400 株	2020年3月期	9,687,400 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	206 株	2020年3月期	152 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	9,687,236 株	2020年3月期3Q	9,687,263 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（2020年4月1日から2020年12月31日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により景気は厳しい状況にあり、各種政策の効果や海外経済の改善から持ち直しの動きが見られるものの、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当社が属する出版業界におきましては、紙と電子を合算した出版市場（推定販売金額）は、2年連続のプラス成長となりました。全国出版協会・出版科学研究所によると、2020年（1月から12月まで）の紙と電子出版を合算した推定販売金額は前年同期比4.8%増の1兆6,168億円となり、その内訳は、紙の出版物については同1.0%減となる1兆2,237億円、電子出版については同28.0%増の3,931億円と、電子出版市場が順調な成長を続けております。

こうした環境の中、インターネット発の出版の先駆者である当社は、「これまでのやり方や常識に全くとらわれず」、「良いもの面白いもの望まれるものを徹底的に追求していく」というミッションの下、インターネット時代の新しいエンターテインメントを創造することを目的とし、インターネット上で話題となっている小説・漫画等のコンテンツを書籍化する事業に取り組んでまいりました。

当第3四半期累計期間における書籍のジャンル別の概況は以下の通りであります。

① ライトノベル

当第3四半期累計期間の刊行点数は前年同期を上回る151点（前年同期比2点増）となりました。各書籍の売れ行きにつきましては、アニメ化が決定した『月が導く異世界道中』の原作小説最新巻が好調に推移したことに加え、同シリーズの既刊書籍につきましても売上を伸ばしました。また、シリーズ累計570万部を突破した『ゲートSEASON2』や『とあるおっさんのVRMMO活動記』等の大型人気シリーズの新刊につきましても引き続き堅調に推移いたしました。

結果、当第3四半期累計期間の売上高は前年同期を上回る着地となりました。

② 漫画

当第3四半期累計期間の刊行点数は前年同期を大きく上回る88点（前年同期比20点増）となりました。各書籍の売れ行きにつきましては、当社の主力タイトルである『ゲート』等、長期にわたり人気を博しているシリーズの続刊が引き続き堅調に推移したことに加え、ライトノベルの新規コミカライズ作品『最後にひとつだけお願いしてもよろしいでしょうか』の第2巻が前巻に続き好調で、大きく売上を伸ばしました。

また、当ジャンルと親和性が非常に高い電子書籍販売につきましては、各電子ストアとコミュニケーションを密に図り実施したキャンペーンや作品露出の強化等の施策が奏功し、売上を大幅に伸ばす結果となりました。

結果、当第3四半期累計期間の売上高は前年同期を大幅に上回る着地となりました。

③ 文庫

当第3四半期累計期間の刊行点数は107点（前年同期比5点増）となりました。『ゲート』や『居酒屋ぼったくり』等の人気シリーズの文庫版が好調に推移し、当ジャンルの売上を牽引いたしました。また、『居酒屋ぼったくり』著者による時代小説『きよのお江戸料理日記』を刊行する等、新規ジャンルの強化に引き続き注力してまいりました。

結果、当第3四半期累計期間の売上高は前年同期を上回る着地となりました。

④ その他

当第3四半期累計期間の刊行点数は17点（前年同期比同数）となりました。その他ジャンルにおいては、絵本やビジネス書等、幅広い分野からの書籍刊行を積極的に実施し、引き続き取り扱いジャンルの拡大に向けた取り組みを進めてまいりました。

結果、当第3四半期累計期間の売上高は前年同期を上回る着地となりました。

以上の活動の結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,723,461千円（前年同期比43.8%増）、営業利益は1,595,499千円（同51.5%増）、経常利益は1,600,931千円（同52.0%増）、四半期純利益は1,008,586千円（同56.5%増）となり、売上高、利益ともに過去最高を大幅に更新いたしました。

（注）シリーズ累計部数：同作品の続編に加え、同作品の漫画及び文庫を含み、部数は電子書籍販売数を含む。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末と比較して1,317,184千円増加し、8,617,980千円となりました。これは主に、現金及び預金が増加（前事業年度末比849,885千円増）したこと並びに売掛金が増加（同415,428千円増）したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比較して9,243千円減少し、304,895千円となりました。これは主に、ソフトウェアの償却を行ったこと等により無形固定資産が減少（同6,574千円減）したこと及び有形固定資産の償却を行ったこと等により有形固定資産が減少（同3,500千円減）したことによるものであります。

② 負債

当第3四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べ314,843千円増加し、1,722,517千円となりました。これは主に、未払法人税等の増加（前事業年度末比113,948千円増）、未払金の増加（同63,357千円増）及びその他の増加（同172,283千円増）によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ15,315千円減少し、43,114千円となりました。これは主に、長期借入金の減少（同14,226千円減）によるものであります。

③ 純資産

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ1,008,413千円増加し、7,157,244千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加（前事業年度末比1,008,586千円増）によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月14日に公表いたしました数値を修正しております。

詳細につきましては、本日（2021年2月12日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,546,132	5,396,017
売掛金	2,398,873	2,814,302
製品	187,166	183,470
仕掛品	118,068	135,515
その他	50,554	88,674
流動資産合計	7,300,795	8,617,980
固定資産		
有形固定資産	31,674	28,173
無形固定資産	25,973	19,398
投資その他の資産	256,491	257,324
固定資産合計	314,139	304,895
資産合計	7,614,935	8,922,876
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,534	53,326
1年内返済予定の長期借入金	20,088	20,088
未払金	518,463	581,820
未払法人税等	269,973	383,921
賞与引当金	36,105	10,268
返品調整引当金	339,621	317,120
ポイント引当金	26,880	35,681
その他	148,007	320,291
流動負債合計	1,407,674	1,722,517
固定負債		
長期借入金	57,340	43,114
その他	1,089	—
固定負債合計	58,429	43,114
負債合計	1,466,104	1,765,631
純資産の部		
株主資本		
資本金	863,824	863,824
資本剰余金	853,824	853,824
利益剰余金	4,431,412	5,439,998
自己株式	△229	△403
株主資本合計	6,148,830	7,157,244
純資産合計	6,148,830	7,157,244
負債純資産合計	7,614,935	8,922,876

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	3,979,839	5,723,461
売上原価	1,029,361	1,282,772
売上総利益	2,950,478	4,440,689
返品調整引当金戻入額	399,171	339,621
返品調整引当金繰入額	342,190	317,120
差引売上総利益	3,007,459	4,463,190
販売費及び一般管理費	1,954,045	2,867,690
営業利益	1,053,414	1,595,499
営業外収益		
受取利息	18	20
前払式支払手段失効益	—	5,559
営業外収益合計	18	5,580
営業外費用		
支払利息	210	146
その他	1	1
営業外費用合計	211	148
経常利益	1,053,221	1,600,931
特別損失		
本社移転費用	30,584	—
特別損失合計	30,584	—
税引前四半期純利益	1,022,636	1,600,931
法人税等	378,368	592,344
四半期純利益	644,267	1,008,586

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)「会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

当社は、出版事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。